

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

# 障害児学校だけじゃない 国の設置基準を求めて 5万筆以上の国会請願署名を提出

## 障害児学校の設置基準策定を求める 第8回全国交流集会

10月26日、障害児学校の設置基準策定を求め、豊かな障害児教育の実現をめざす会が、第8回全国交流集会を東京都内で開催しました。集会には、「大阪の障害児教育をよくする会（以下よくする会）」など、父母・教職員共同の団体をはじめ、各地の教職員組合など、全国から約60人が参加しました。

### 増える紹介議員ひろがる設置基準策定を求める運動

第1部の総会では、垣見尚哉事務局長(全教障害児教育部)が、1年間のとりくみを報告しました。



講演する小泉宏子さん

4月からとりくんできた「障害児学校の設置基準策定を求める請願署名」は、集会当日までに5万600筆が集約され、紹介議員を引き受けてくれた国会議員は、6党派(自民党・立憲民主党・国民民主党・日本共産党・社会保障国民会議・沖縄の風)53人となりました。各地の署名活動のとりくみでは、駅頭署名に積極的にとりくんだり、すべての障害児学校のPTA会長への要請や、校長に許可を取り全家庭に配布するとりくみ、放課後等デイサービスの施設や教職員組合以外の労働組合に協力を要請して署名を広げた県もあり

### 障害児学校のあるべき設置基準は「最低基準の上乗せ」

第2部は、小泉宏子さん(桜美林大学)による、「国連子ども権利委員会勧告から考える設置基準問題」と題した学習をおこないました。小泉さんは、学校設置基準は、子どもの教育を受ける権利を十分に保障していくための『最低の教育条件整備的基準』であると述べ、障害児学校には、学校適正規模や教室概念・基準など最低基準が存在するに、学校設備や整備のため

の国・自治体の財政支出基準が欠如しているという問題を指摘しました。さらに、現在の教育条件は、障害による差別や子どもの教育を受ける権利の侵害などの問題があることも指摘し、「普通学校との同等性+障害児の特別なニーズ」が障害児学校のあるべき設置基準であると述べました。

また、小泉さんは、2019年3月に出された国連子どもの権利委員会勧告では、「子どもの意見の尊重」「差別の禁止」「特別なニーズへの考慮」などの課題があげられていると紹介し、日本の教育の状況と照らして「勧告」を読み込み、設置基準問題にどう生かして運動をひろげていくことができるかが重要であると語りました。

学習後は、全国各地より、障害児学校の劣悪な実態や、その改善を求める父母と教職員の共同のとりくみなどが報告されました。大阪からはよくする会の西面事務局長が大阪の支援学校の実態や支援学校増設運動のとりくみについて発言しました。交流のまとめをおこなった佐久美順子会長(神奈川県保護者)は、「子どもが安心して笑顔で学べる学校、保護者が安心して子どもを送り出せる学校、先生たちが笑顔で教育に専念できる学校にむけて設置基準の策定を求める運動を大きくしていこう」と呼びかけました。

書記局の  
つなぐ  
出口がいまだ見えない日韓対立。4日、安倍首相と韓国の文在寅(ムン・ジェイン)大統領の両首脳が、わずか10分程度であったが約1年ぶりに対話した。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp

韓国側による日韓事情情報包括保護協定(GSOMIA)の破棄にまで至った両国の応酬は、日本と韓国双方にとって、何一つメリットがないことはあきらみかねた。にもかかわらず、政府として、現状の対立状態を改善しようとの意図は感じられない。先月29日にソウルでの外務局長の「ボールは韓国側のコートにある」との言葉は、元徴用工問題をめぐる安倍政権の主張を色濃く反映するものだ。韓国は、慰安婦問題や元徴用工問題を「蒸し返す」ひどい国だとして、政権が対立をあまりメディアもそれを助長する状況に、うんざりしているのは私だけではないだろう。

ここまで張り詰めた緊張を対話により緩和するための努力こそ、政府に求められる外交力ではないだろうか。

秋のスポーツ交流！

# 投げて打って走って大盛り上がり！

## (四條畷会場)

### 大障教青年部主催

### ソフトボール大会

秋のスポーツ交流、青年部主催のソフトボール大会。9月14日に四條畷会場、16日に難波支援会場で開催しました。まだまだ夏の暑さが続く9月でしたが、今年も元気に体を動かして楽しんでいただきました。今号では、たくさん集まった四條畷会場の様子をお伝えします！



優勝した東淀川支援学校のみなさん

9月14日(土) 大阪府立交野支援学校四條畷校でソフトボール大会が行われ、11校(四條畷、枚方、守口、寝屋川、摂津、茨木、東大阪、豊中、和泉、交野、東淀川)で100人を超える多くの先生が参加しました。前日の雨も、四條畷校の先生方の丁寧なグラウンド整備のおかげで、最高のコンディ



ションで交流試合をする事ができました。どの学校も、攻めるときには仲間をしっかりと応援し、守るときは声を掛け合いながら守備をしていました。勝ったチームにも負けたチームにも笑顔があり、職場の絆を深めた良い一日になったのではないのでしょうか。決勝戦は東淀川支援学校と寝屋川支援学校でした。両校は、激戦の末5対5の引き分け。勝負は「じゃんけん勝負」に

持ち越されました。複数人での「じゃんけん勝負」でも一進一退を繰り返しましたが、最後に勝利の栄冠に輝いたのは、東淀川支援学校でした。なんと今回初出場で初優勝をとげました！おめでとうございます。「旧市立の支援学校は府立に移管されて日も浅いので、これからもよろしくお願ひします」と、チームの代表者が最後に挨拶をしました。参加したすべての方々のご協力

のおかげでスムーズに試合を行なうことができました。ありがとうございました。



## 第19回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 兵庫

日程：1月11日(土)～13日(月)

- 11日：全体会(神戸芸術センター)
- 12日：講座・文化バザール・分科会  
(神戸市勤労会館・新長田勤労市民センター)
- 13日：教育フォーラム(神戸市勤労会館)

毎年恒例の全国障害児学級学校学習交流集会在、今年は神戸で開催されます！昨年度の仙台では、藤井克徳さんの優生思想をテーマにした記念講演がとても印象に残っています。毎年実践分科会や、フォーラムもとても盛りだくさんで、たっぷり学べる三日間です。今年は近場な神戸ということで、気軽に足を運んでみませんか？全国の先生たちとたくさん交流できるのも、学習交流集会の魅力です！

参加費・交通費・宿泊費  
補助があります！



松石江梨香  
(東大阪支援学校分会)

### ～青年部企画より～

青年部では今後もスポーツ交流を続けていきたいと考えています。それぞれの分会での交流を深めたり、他の分会に転勤された先生方とお会いする機会になったり、普段の職場ではなかなか感じることができない交流の場になればと思います。また、スポーツの運営に関しては、大教済にも協力をいただき、レクリエーション保険で参加の先生方の「もしも」に備えています。

2学期も先生方の元気いっぱいの体と心が子どもたちへの関わりに活かされ、笑顔いっぱいの子どもの姿が増えることにつながればと思います。